

なし・りんごにおける火傷病の確認マニュアル

～花や果実の確認～

開花から1～2週間後や果実形成期に見られる症状です。

1:開花から1～2週間後の確認ポイント

○花全体がしおれて、褐色又は黒色になって枯れる。

○温暖多湿条件下では、花柄に白色～褐色、黒色の細菌泥が見られる。



花全体がしおれる様子

2 : 果実形成期の確認ポイント

○幼果の表面にはりんごでは白色～褐色なしでは白色～黒色の細菌泥が見られることが多い。

→幼果の腐敗

〔りんごでの被害〕

(提供: Syngenta United States)



○果実は灰緑色、水浸状となり、やがて褐色又は黒色に枯れる。

○枯れた幼果はミイラ果となって樹上に残る。



→幼果のミイラ果症状

〔洋ナシでの被害〕

(提供: 三井物産(株))

病徴の写真については、以下もご参照ください。
農林水産省HP:「侵入調査マニュアル」で検索。

これらに該当する症状が確認された場合

樹の症状及び症状を呈している樹の本数をご確認いただき、奈良県農林(農業)振興事務所にご相談ください。